



平成30年度 中央区地域活性化事業交付金 交付決定事業 【田名地区】

平成31年3月31日現在

団体名	事業等の名称	事業の概要 (申請時)			交付決定年月日	事業予算(単位:円)		
		事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
1 田名地区防犯協会	青バトを活用した防犯活動事業の強化	犯罪が多様化する中、「自分たちのまちは自分たちで守る」という意識から、平成18年より青バト防犯パトロールを開始した。現在も約150名のボランティアの協力により原則毎日実施している。	・地区住民の防犯意識を高め、犯罪を未然に防止する。 ・青バト乗務者などのボランティアの担い手を育成する。	・青バト防犯パトロール ・自治会や学校と連携した児童見守り活動 ・防犯キャンペーン ・警察との合同会議の実施 ・青バト乗務者資格講習会の開催 ・重点監視板の設置	H30.9.20	750,000	300,000	300,000
2 田名自治会連合婦人会	田名自治会連合婦人会広報事業	東日本大震災をはじめ、国内で多発する災害等をうけ、地域のつながりや絆の必要性が再認識されたところであるが、自治会加入率は減少傾向にある。	地域の主たる事業やまちづくり会議、自治会定例会などに参画している当会の活動について情報発信を行うことで、女性による自治会活動の推進や福祉活動への参加協力の周知を図り、人と人の繋がりがあがる明るく住みやすい地域を目指す。	活動内容等を周知するため広報紙を作成する。 ・発行:平成31年3月 ・作成部数:8,000部(自治会加入世帯全戸配布 他)	H30.9.20	142,000	70,000	70,000
相模原市自治会連合会中央区連絡会	中央区振り込め詐欺対策事業 9地区合同事業	全国で多くの被害を出している振り込め詐欺だが、相模原市、中央区もその例外ではなく、平成29年に確認された被害件数は相模原市全域で83件(被害額:約2億3,500万円)、中央区内は41件(被害額:約7,700万円)に上っている。各地区においても対策を求める声は多く、警察や行政の取り組みに加え、自治会をはじめとした、地域の住民自身による啓発活動等も実際に行われている。しかしながら、平成30年に入ってから被害件数は増加傾向にあり、警察・行政と地域とが連携した一層の取り組みが必要となっている。	詐欺被害の中でも特に近年の高齢者の詐欺被害増加に着目し、高齢者向けの詐欺対策を講じることで、1件でも多くの詐欺被害を未然に防ぐことを目的とする。	・振り込め詐欺防止のステッカーを作成し、各地区において自治会加入者に限らず詐欺被害が危惧される高齢者世帯を対象に配布する。 ・ステッカーを自宅の電話機付近に貼ってもらうことで、詐欺に対する意識を高め、被害を未然に防ぐ。	H30.12.13	138,000	138,000	138,000
						892,000	370,000	370,000

9地区合同事業以外の合計額